

桜めーる

平成十七年度

一年間町内会活動への
「協力ありがとう」ございました

第66号
発行
桜ヶ丘町内会
広報委員会



町内会 会長
前田 修三

この一年間、十七度の役員・桜プロジェクト・子ども会・熟年会・民生児童委員など各種団体のみなさん方の活動と、桜ヶ丘町内会員の皆さんのご協力とご支援により、十七年度の事業計画案を何とか遂行できました。
わが町桜ヶ丘を取り巻く内外の環境が大きく変化し、種々の問題が発生し、日本中、幼い子どもの生命と安全を脅かす事件が多く発生し、わが町内でも何時発生しても不思議でない状況です。
子どもの生命と安全に対して、課題を残すこととなりました。
また、琵琶湖西岸の活断層による地震発生が予測されています。私は神戸出身です。二十四歳まで住んだ、わがふるさと・わが生まれた家がこんなひどい状況になるとは？予想できませんでした。何時、神戸と同じような地震がくるか分からないなかで、町内会として、何ができるか？大きな課題があります。子どものみならず、桜ヶ丘住民の生命と財産を守る「仕組みの充実が必要」です。

子どもたちが安心して、
のびのびと成長できる町？

小学生の小学校時の安全の取組の経過は次の通りです。
一、桜ヶ丘では小学生の夏休みのラジオ体操での見守りを桜ヶ丘の民生・児童委員の方がされました。
二、下校時の見守りの必要性を民生児童委員・桜プロジェクト・町内会・桜ヶ丘玉川小学校PTAの方と二回話し合いをしました。具体的な行動まで至らず、小学生の通学路の桜ヶ丘の入り口で有志の方で迎えをしました。
三、十一月末・十二月始めに茨城・広島での事件が発生し、下校時の児童の安全が課題となり、玉川小学校地域協働学校の会議で検討し、小学生の保護者と地域（町内会）で役割を分担し、下校時の安全を確保することで一月から実施しています。町内会の役割として十七年度班長・桜プロジェクト・熟年会・民生児童委員の協力で十八年三月までは実行しました。
小学生の下校時の安全のみならず、乳児から中学生までの子供達が安心して、のびのびと成長できる桜ヶ丘にするため、いろいろな方の知恵で実現することが望まれます。

減災・災害弱者を救える町？

琵琶湖西岸断層地震の地震が起これば、桜ヶ丘は震度六弱との予測を発表されました。桜ヶ丘町内会も住民の皆さんとより具体的に防災・減災・地震対策が必要です。
二人はみんなのために、みんなは一人のためにで臨まなければなりません。
安心・安全な桜ヶ丘を目指し、「私が変わります。皆さんも変わります」を合言葉にみんなで挑戦する時期です。
立命館大学の学生との協働で防災ワークショップを開催しました。参加されました方は何等かの減災対策をしている方が多くありました。
減災については個人・隣人・班・町内会・市の役割を明確に文書化されたものはありません。
減災についての市・町内会での動向は

○草津市

・防災マップ作成と個人の減災対策
・木造住宅の耐震診断の無料
・市内の震度予測地図をホームページに掲載
・町内会長に防災無線（受信のみ）配備
○桜ヶ丘町内会
・防災ワークショップを開催
減災については
時系列的に見ますと
一、地震が起きるまでにすべきこと

- 二、発生直後の対応策
- 三、発生後3日間の対応策
- 四、発生後4日以降の対応策

時系列の地震発生まで・発生直後・発生から3日間の対応が重要です。
個人・隣人・班・町内会・草津市・滋賀県役割を明確に文書化されたものではありません。
何時起きても不思議でない地震、減災について個人・隣人・班・町内会の役割について真剣な取り組みが必要です。

より安心・安全な町づくりへ

緑あふれるすがすがしい町、心のふれあう町、安心・安全な町、住んでよかった町」をモットーに、三十年、記念式典・記念事業、神社周辺の桜の植樹・桜ヶ丘のホームページができ、春の行事としての「桜祭り」家庭版ISO「取組みなどが継続しています。

桜プロジェクト」の

環境グループ」は毎月の活動で「緑あふれるすがすがしい町」の維持・向上をされています。
健康グループ」は毎日「健康（祝日を除く）」の歩こう会で町内を練り歩いていただいでおり、防犯に大いに効果を発揮しています。
助け合いグループ」は小学生の下校時の見守りに積極的に参加していただいています。
いろいろな町内の活動により、安全・環境・ひとの繋がりを二歩一歩、いいかたちにするんできた一年でした。しかしながら、

住民の生命と財産を守るにはまだまだ整備しなければならぬことがあります。
桜プロジェクトの健康グループのかが、健康ウォーキングで、会った人に挨拶されています。まずは町内での挨拶運動が「声を掛け合う」ことが大切です。「挨拶」から、より、桜ヶ丘町会も住民の皆さんとより具体的な防犯対策の仕組みを築き上げねばなりません。

いろいろな活動・実践・議論でよりよい桜ヶ丘町づくりを目指して

今後とも「町内会役員活動」桜プロジェクト」の活動がいよいよ実践し、実践の中でお互いがぶつかりあい、議論をし、「歩前進し、ひよっとすると2歩後退することもあるかもしれませんが、できるだけ多くの皆さんと議論を交わして、前へ進みましょう。来年度は「町づくり委員会」の再発足と、桜プロジェクトも益々内容の拡充と深堀のある活動に期待しています。町内会の皆さんの参画と協力をお願い致します。受動型から能動型へ・依存型から自立型へと変わり、町内に住んでおられる老若男女のすべての皆さんがより安全で安心な桜ヶ丘へ、「町内住民が一丸となり、ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」自立した、「一人一役」の桜ヶ丘を合言葉に、よりよい桜ヶ丘町づくりを目指しましょう。

副会長

- 二班 西 勝也
- 十九班 伊豆田 恵子
- 二十一班 大賀 利巳

副会長というのは、会長を補佐して桜ヶ丘町内会の諸行事をスムーズに実行できるようにすることの他に、玉川学区の各種委員会に参加するということでした。この一年は、他の委員会の皆さんの並々ならぬご努力によって、実りある活動が行われました。それには町内会の皆様の積極的な参加があったからです。長かったようで、あっという間に過ぎた一年でした。世の中は、なんとなく不安な状況が生まれてきていますが、この桜ヶ丘は安全で、不安のない町にしていかなければならないと思っています。

総務

- 十六班 廣岡 満子
- 十八班 横山 拓也

思えば、何一つ分からぬままスタートした総務でした。当初は、引き継ぎの膨大な資料の前でため息が出るような心境でございましたが、何より、総務のパートナーに非常に支えられ、また役員の皆様方の温かい御協力と御指導を頂きましたお陰で、一つ一つ消化してゆく事ができました。心より感謝を申し上げます。本当に有難うございました。そして、会長を初め本部役員、各委員会、班長の皆様方一年間本当にお疲れ様でした。

会計

二十四班 竹原恵美子
 二十八班 小西真知子
 不安と頑張ろうの意欲とが入り混じった気持ちでお受けした会計の仕事も気がつくところという間に終わろうとしていきます。町内会費・夏祭りの決算においては、計算間違いや数字の書き違い等に気付き帳尻がびったり合うと思わず二人で拍手した時もありました。もう一人の会計担当の小西さんとはとても気が合い大変楽しくお仕事をさせていた

防犯防火交通委員

三班 梅林 奈美子
 六班 秋道 喜代子
 十班 黒川 享子
 二十六班 西田 かおる
 二十七班 釜我 慶子
 十七年度の防犯委員もまもなく終わりを迎えますが、何も分らない状態で防犯防火交通委員を五人のメンバーでスタートしました。振り返ってみるとメンバー全員が仕事を持っている女性ばかりで男性委員がおられないという事で大変な部分もありましたが、お互いにカバーし合いながら無事務める事が出来ました。至らない所や失敗も多々ありましたが、皆様のあたたかいご理解とご協力に感謝致しますと共に、一年間本当にありがとうございました。

二月十九日
 防災訓練

保健衛生委員

四班 猪野 聰英
 八班 山本 弘子
 十七班 滝口 功
 二十班 秋吉 一男
 二十九班 浜野 信夫
 一年間役員(班長)として町内の行事に参加してまいりましたが、やらなければという使命感がその全てでした。目的、目標を持って行動する事が、生活の活力になるといふことをあらためて認識した

に終わることが出来ました。今、終えてみると、もう一年過ぎたの」とい感じでした。各委員会の皆様、桜プロジェクト 熟年会、子供会の方々、ご協力有難うございました。そして、最大の協力者は、桜ヶ丘町内会員」のご協力でした。夏祭りの盛り上がり、運動会での初優勝、どんと焼きでの多数のご参加、神酒の三回の追加買い出し) 振り返れば大変多くにの方々の参加が有って出来た事です。文厚体の行事の中で多くの人々との出会いを通じ楽しい思い出が一杯出来ました。私達 文厚体五名」の活動が桜ヶ丘町内会のコミュニケーションの一助となれば幸いです。来年度の「新文厚体」の方々にも本年と同様、宜しくご協力頂きます様、お願い申し上げます。御礼とさせていただきます。

環境委員

一班 薄田 正禎
 五班 松本 幸夫
 十一班 藤田 聖修
 十五班 大谷 利雄
 三十班 畑山 敏之
 環境委員会五名一丸となつて、ボランティア精神を発揮して一年間頑張つて参りました。

刈り、水やり、花壇の水やり定期的な花の植替等全員で見を出し合い少しでも桜ヶ丘をきれいな街にと頑張つて参りました。また夏祭りでは楽しい夕べの運営を担当、わからない事ばかりで苦労も多かったが、立命館大学、子供会、熟年会、椿会の皆様に助けられ楽しい夏祭りを通して頂きました。また玉川学区の体育振興会の委員として大運動会、球技大開の運営のお手伝いをさせて頂き地域とのふれあいができました。ただ一つだけ残念なことがあります。こもれば池通信でお願いして参りましたが、犬のフンの後始末です。苦情も多くなれば街づくりを目指す、桜ヶ丘が泣いています。

一月八日
 どんと焼き

広報委員

十二班 王 翔
 十三班 山口 哲也
 二十二班 中村 佳代子
 三十一班 高下 由美子
 一年前は何か分からない状態で広報の仕事は何とかこなしてやってきましたが、あつという間に終わったという感じでした。一人でこの役員の仕事をすることはとても難しいことだと思つていましたが、広報委員メンバーや役員みなさんと一緒にやってきたからこそ、何とか最後まで仕事をこなすことが出来たのではないかと思います。至らない所ばかりで、皆さんには大変ご迷惑をお掛けしました。これも、ご協力していただいた皆様のおかげです。一年間本当にありがとうございました。

竹原
 昨年の四月当初は、班長の仕事や会計の仕事をこなしていくのがやっとなりましたが、夏祭りが終わる頃には慣れてきました。班長になり、いろいろな行事に参加させて頂き、多くの人と出会い、また貴重な経験をしました。楽しい思い出もたくさんできました。緊張の一年ではありましたが、有意義な日々を送ることができました。

文化厚生体育委員
 七班 高津 豊
 九班 遠藤 千晴
 十四班 梅田 豊子
 二十三班 木村 雅美
 二十五班 中山 勲
 一年前スタートした時は「どうなることやら」と不安で、いっぱいでした。歩こう会」に始まり、どんと焼き

こもれば池の管理では、十五名のボランティアの皆様を支えられて、鴨も鯉も元気過ぎておられます。また環境面では桜プロジェクトのご協力でももれば池周辺が大変美しくなりました。花と緑の街づくりでは、あじさい坂の草

一年間皆様にご協力頂きましてありがとうございます。
 (小西)